

伊保内高校学校通信

伊高だより 12月号



明朗・創造・努力

編集・発行／岩手県立伊保内高等学校
〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村伊保内1-61-12
TEL(0195)42-3121(事務室) 42-3122(職員室)
<http://www2.iwate-ed.jp/ibn-h/>

いわて発！適量バランス弁当

令和 5 年度 郷土料理講習会・地域料理講習会



12月7日（木）本日は、2年A類の生徒を対象に、九戸村役場保健福祉課の西館留美様、九戸村食生活改善推進員

の桂川祥子様を講師に、地域の食文化に興味を持ちスローフードの大切さを理解することを目的とし講習会を開催しました。本校は、給食ですが、今回は地域の食材を利用した弁当作りに挑戦しました。包丁の使い方や野菜のゆで方、フライパンや蒸し器の扱い等も教えていただきました。

弁当箱に工夫があり、主食、副菜、主菜、乳製品、果物を詰めるように区切られています。

本日は給食もありますから、一気に食べるのか？夕食にするのか？

玉ねぎのみじん切りやホウレン草のゆで方等自己流で行っていましたが、私自身本当に参考になりました。ありがとうございます。

☆講習会の感想☆

お弁当の感想はめちゃくちゃ美味しかったです。郷土料理を使うからもっと病院チックな感じだと思っていました。作るのもすごく簡単だし、体にも良い栄養バランスで何より弁当箱の容量にそろえるだけというのが感動しました。材料も九戸村の特産品を活かして地産地消できるし、私たちのやったむらおこし会

社の商品開発部門と似たようなことで、立派な村の活性化のための活動の一つだと思いました。機会があればこういう講習を全校でやって地域のための料理を深めていきたいです。またお願いします。（2年男子）

どんと払い

来月の九戸村地域子ども読書会に向けて、村内の読みきかせグループやまびこ



様による紙芝居などの実演方法や読み聞かせの技術を学びました。

炉ばたのむかし語り PRART2「ねずみっこのはなし」

本当に囲炉裏で聴いているような錯覚におちいりました。九戸弁による昔かたり。私には方言が100%理解できませんでしたが、生徒たちはどうだったでしょうか？

紙芝居「はちとあり」

本校の先輩が生徒だった頃に手づくりしたものです。今でも大切にに使っていただき感謝します。まだまだ九戸村の図書館や学校に在庫があります。**朗読劇「あらしのよるに」**

最後は、おなじみの作品です。生徒たちばかりか教職員も童心にかえり満ち足りた気持ちでいっぱいになりました。

本番まで1か月となりました。今度は、聴いてもらう方です。

プレゼン in 伊保内小



12月12日（火）
大雪着雪注意報発令！！

朝から九戸村は
久々の雪です。朝一
番で伊高むらおこし

会社での1年間の取組を伊保内小学校6年生の皆さんに紹介しました。

小学生の皆さんも村の課題について村おこしの探究に取り組んでいるそうです。校長先生からの要望もあり、今回のプレゼンが実現しました。

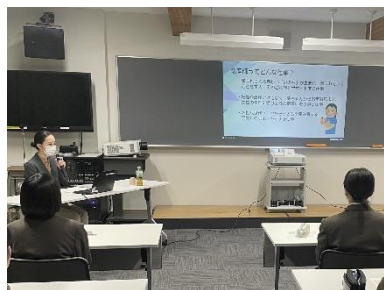
今年度、伊高むらおこし会社は、商品開発部門・ゲーム制作部門・ドローン部門・イベント企画運営部門の4部門で取り組みました。小学生の皆さんの参考になれば幸いです。

小学校の発想に期待したいものです。来週は九戸中学校での発表があります。小中高校と継続して村の課題について考えられるようになれば、もっともってこの村が良くなると思います。

思春期卒業しますか？

令和5年12月13日（水）

令和5年度 思春期講演会



本日は、卒業する
3年生を対象に岩手
県立二戸病院の助産
師高橋碧様をお招き
して「いのちの大切
さ ころとからだ

の話」と題し講演していただきました。

「人を好きになる気持ちは自然な事」

「子どもは産んで終わりじゃない 産み育てていく
もの」

「予期せぬ妊娠 望まぬ妊娠に気をつける」

「命を大切に」

出産の映像では皆思わず涙ぐんでいました。

当たり前のことですが、両親に感謝。

生徒達も皆人の子です。大切に育てましょう。

小中高とつながりました

12月18日（月）

本校の「総合的探究
の時間」で取り組ん
でいる伊高むらおこ
し会社についての1
年間の取組について



の発表が伊保内小学校に続き九戸中学校でも行われ
ました。これで小中高連携となりました。中学生に
高校の学習に係る情報を提供し、本校入学後の学び
に対する意識を高めることを目的としています。

校内予選や伊保内小学校でのパフォーマンス等考慮
した社長を始めとした精鋭部隊です。ゲーム制作・
ドローン・商品開発・イベント企画運営各部門の
成功体験や苦心談に中学生は熱心に聞いてくれまし
た。九戸中学校の皆さんこの続きは、伊保内高校で
一緒に取り組みましょう。

クラムボンは笑ったよ

やまなし

宮澤賢治の童話の
ペープサートです。
国語の教科書にもあ
りましたので、ご記
憶の方もいらっしゃる
かと思います。



さて、クラムボンの正体は何でしょう？

来月に迫った九戸村地域子ども読書会のリハーサル。
まずは2年生がお手本を示し、次に1年生。
2年生は昨年の経験を活かし、1年生は小学生の時の
ことを思い出しながら…。

九戸村の子は幼少から昔語り、読み聞かせに親し
んでいます。感受性の豊かな時期に様々な教訓や示
唆に触れることでよいこに育ちます。